



千代田 スポーツだより

発行：千代田区生涯学習・スポーツ課
☎ 03-5211-3627

編集：千代田区スポーツ推進委員協議会
千代田区内神田2-1-8

区民スポーツ大会 第9回ドッジビー大会

令和7年3月2日（日）
千代田区立スポーツセンター主競技場

3月2日に開催された区民スポーツ大会「第9回ドッジビー大会」には4チームが参加しました。白熱した試合の末、順位決定戦は延長戦にもつれ込む展開となりました。接戦を制し、お茶の水小紺チームが見事優勝を果たしました。

また今年は例年よりも少ない参加数であったため1チームあたりの試合が多くなりました。そのため、リフレッシュタイムとして試合の合間に参加者それぞれのディスクの飛距離の計測をし、好記録をおさめた方には表彰をおこないました。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

～優勝チームコメント～

お茶小紺 傅 智絵 様

「次の大会はいつ？ 僕も出たい！」八校会の終了後、児童から沢山の立候補があり今回のメンバー組みとなりました。1年生にとっては初めての大会であり、緊張の面持ちでしたが、皆真剣に試合に臨んでいたのではないかと思います。

決勝戦では同点ののち延長戦に突入するなど、大変白熱する試合展開でした。来年度はもっとたくさんのドッジビーファンに会えることを願って、ドッジビーの楽しさを皆様と共有していければと思っています。

最後になりますが、大会運営を担ってくださった千代田区スポーツ推進委員協議会の皆様、千代田区ドッジビー協会の皆様、ならびにご参加頂いた全ての選手、保護者の皆様へ厚く御礼申し上げます。

★大会結果★

- 優勝：お茶小紺
- 準優勝：番町ドッジビーズ
- 3位：お茶小オレンジ
- 4位：麴町 GENERATION



関東スポーツ推進委員研究大会 山梨大会

令和7年6月27日（金）・28日（土）
小瀬スポーツ公園

■大会テーマ 『スポーツと文化の融合』

■サブテーマ ～地域を繋ぎ 地域を生かし 地域を元気に～

基調講演は、「～今 子どもの笑顔が輝く社会～」、日本航空学園理事長の梅沢重雄氏より「天恵に変えた長所、進展の教育」について、日本の危機管理の重要性と災害対策の窓口の一本化の必要性を訴えられました。次に、山梨大学学長の中村和彦氏より「健やかな子どもを育む」について、スポーツの語源は「気晴らしをする」、「楽しむ」であること、子どもたちが気楽に楽しく遊べるため

に如何に工夫して場所をつくるのが重要とのこと。最後に、10名の全国スポーツ推進委員連合リーダー養成講習会参加者らによるパネルディスカッション。自らスポーツとの繋がりを話し、地域でスポーツを推進することの現状と課題を共有する一方、スポーツの力を再認識する機会となりました。

2日目の分科会は、甲府市内『信玄堤』散策を通じて、武田信玄ゆかりの治水事業文化を学ぶウォーキング体験となりました。



ニュースポーツ大会（モルック）

令和7年6月29日（日）
千代田区立スポーツセンター主競技場

■区民スポーツ大会「ニュースポーツ大会」

千代田区スポーツ推進委員会では、地域住民の健康促進と交流を目的に、「千代田区モルック大会」を開催しました。今回の大会には、全7チームが参加。社会人チームや親子チームなど、幅広い世代の方々が一緒にプレーし、白熱したゲームが繰り広げられました。モルックは初めてという参加者も多く、ルールを覚えながら投球を楽しむ姿が見られ、笑顔あふれる一日となりました。参加者もとても楽しいスポーツで室内での競技、天候にも左右されない為運営しやすい。今後も千代田区では、スポーツを通じた地域のつながりづくりを推進してまいります。次回の開催もぜひご期待ください！

～優勝チームコメント～

ライフシフターズ 利根川 豊 様

千代田区モルック大会で優勝できたこと、チーム一同とても嬉しく思っています。2週間前の講習会では、スタッフの皆様にご親切丁寧なご指導をいただき、楽しく準備することができました。当日は、対戦チームとも互いに拍手を送り合いながら、和やかに笑顔あふれるプレーが続きました。人とのつながりの大切さを改めて感じた一日でした。心より感謝申し上げます。



★大会結果★

- 優勝：ライフシフターズ
- 準優勝：三番町町会
- 3位：ロケーションマインドモルッククラブ

東京都スポーツ推進委員協議会 広域地区別研修会（第一ブロック）

令和7年7月6日（日）
千代田区役所

令和7年度の当番区として千代田区が取り上げたテーマは「生涯スポーツとして健康マージャンの

理解」でした。私たちが推奨する健康マージャンとは、賭けるイメージのある「麻雀」ではなく、所謂「賭けない・飲まない・吸わない」を原則とした「麻将」と称するものです。

健康マージャンの知識を学ぶ上で大切なのは、「1、まなぶ 2、あそぶ 3、きそう」をしっかり区別をすることです。本来は13枚の牌を組み合わせアガりに近づいていくゲームを4枚で行う4枚マージャンを体験し配置された20卓全卓で笑顔や歓喜の声が上がっていました。実技研修を終え各自自治体、スポーツ推進委員が自身の活動地域での生涯スポーツとしての「憩いの場」づくりの参考にさせていただけたらと願います。



区民
スポーツ大会

第36回 ボウリング大会

令和7年7月20日(日)
東京ドームボウリングセンター

区民スポーツ大会「ボウリング大会」は、3名1組で、2ゲームの合計得点を競います。36回目となる今回も、チームは、趣味や仕事の仲間、兄弟姉妹、親子などと、様々な編成での応募となり、9チーム27名の老若男女の笑顔が見られました。

梅雨明け、夏晴れの午前中のひと時に、屋内で快適にゲームに集中し、ピンの倒れる音も爽やかに響きわたっていました。去年は、身長130cm未満でノンターレーンでの投球だったお子さんが、今年は身長が少しだけ130cmを超えていて、大人と一緒に挑んだのも印象的でした。

アンケートに、運営がスムーズで良かったというお声を何件かいただきましたこと、嬉しく思いました。ご参加の皆様、ありがとうございました。

～優勝者コメント～

ブンチャーズA組 住井 裕子 様

参加者、主催者の方々、先日は大変お疲れ様でした。今年のボウリング大会でグループ優勝という成績に、大変な驚きと喜びを感じています。日頃からのコミュニケーションがチームワークに結びついていたのではないかと思います。個人的には惜しいショットも多々ありましたが、メンバーの活躍に助けられ、このような結果を残すことができました。今後も体と相談しながらではありますが、ボウリングだけでなく様々なスポーツに皆で挑戦していきたいと思っています。スポーツ推進委員の方々いつもありがとうございます。これからもどうぞよろしく願いいたします。



★大会結果★

- 🏆 優勝：ブンチャーズA組
- 🥈 準優勝：UFO（友豊）
- 🥉 3位：OMY

千代田区立小学校八校会 ドッチビー大会

令和7年6月14日(土)
千代田区立スポーツセンター主競技場

～優勝チームコメント～

お茶小紺 傅 智絵 様

昨年の大会から半年ほどで本年度の大会となり、6年生が引退した後なのでチーム分けに悪戦苦闘しましたが、優勝・準優勝と四連覇を達成することが出来ました。

大会初出場の児童も多く皆緊張した面持ちでしたが、お互いによく声を掛け合いながら頑張れたのではないかと思います。

大会運営を担ってくださった八校会の皆様、千代田区スポーツ推進委員協議会の皆様、千代田区ドッチビー協会の皆様、ならびにご参加頂いた全ての選手、保護者の皆様へ厚く御礼申し上げます。



★大会結果★

- 🏆 優勝：お茶小 紺
- 🥈 準優勝：お茶小 オレンジ
- 🥉 3位：番町ドッチビーズ

令和7年度東京都スポーツ推進委員功労者（10年）表彰

表彰コメント

叶 雄 様

この度は、東京都スポーツ推進委員協議会功労者の表彰をいただきまして嬉しく思います。

気がつけば、千代田区スポーツ推進委員になってから十年の歳月が経ちました。今までの十年間を省みれば、皆さんからスポーツ推進業務を教わりながら、沢山の経験をすることで自分の成長へとつながる十年間だと思えます。皆さんのおかげで、ある程度地域の健康づくりにお力添えできるようになったことと存じます。皆さんと共に歩んできたことに感謝します。

今回の表彰は私にとって励みとなり、一つの節目でもあります。これから更なる十年先のマイルストーンに向かって突き進み、活動を続けたいと考えます。皆さんと手を携え、地域スポーツの普及と住民たちの健康増進に貢献できるように精いっぱい頑張りたいと思います。今後とも末永くよろしくお願い致します。



編集後記

令和7年も区民の皆さまの笑顔と熱気に包まれたスポーツイベントが数多く開催されました。ドッチビーやモルックといったニュースポーツから、ボウリング大会、さらには研修会や研究大会まで、世代や地域を超えた交流の場となったことを嬉しく思います。スポーツは「楽しむ」ことが原点。大会や講習会を通じて、仲間と声を掛け合い、笑顔でプレーする姿に、改めてその大切さを感じました。今後も千代田区では、誰もが気軽に参加できるスポーツ環境づくりを進めてまいります。次号もどうぞお楽しみに！